

浅ノ川総合病院 後期研修プログラム

内科

I 研修対象者

卒後3年目以降の初期研修を修了した内科を希望する医師で、認定内科医や各学会専門医の資格取得を目指す医師、又は地域医療や開業を目指す医師

II 研修目標

初期研修に引き続き、単独でプライマリ・ケアを含む内科全般を総合的に診療できる医師を目指す。さらに希望する専門分野での高度な知識、技能を習得し、各学会専門医取得を目指す。

担当科：内科（消化器、呼吸器、血液、感染症、循環器、内分泌代謝）
神経内科
腎臓内科

III 研修期間：4年間

IV 指導プログラム責任者

プログラム全責任者：上野敏男（病院長）

指導医

内科：*荒木一郎：消化器、一般
北川駿介：呼吸器
小市勝之：消化器
浜野直通：消化器
竹内喜洋：内分泌代謝、循環器、一般
織田展成：内分泌代謝、一般
山本泰弘：内分泌代謝、一般

神経内科：*廣瀬源二郎

三秋弥穂

紺谷 智

腎臓内科：石川 勲

*中澤哲也

森田恭子

渥美浩克

心臓血管センター金沢循環器病院

循環器内科：名村正伸（最高経営責任者）

*池田正寿（病院長）

土谷武嗣

*印：研修医統括担当者

V 研修プログラムの概要

- 1) 初期2年間は自由選択制とし各分野を3ヶ月～6ヶ月毎にローテートする。既に専門分野を決めている後期研修医は、選択期間も自分の専門分野を重複できる。後期2年間は専門各科研修プログラムに移行する。広く一般内科を希望する場合や地域医療として将来の開業医希望の場合、後期2年も各科や地域の病院(医院)ローテートを可能にした支援プログラムも準備している。その他、個人の希望プログラムにも可能な限り対応する。
- 2) 内科病棟の入院患者を指導医の指導のもと、主治医として10人前後担当し、正式の医療スタッフとして診療に当たる。又初期研修医に対し、その上級医として指導医とともに教育指導に当たる。
- 3) 内科外来業務を単独で週1～2回担当する。
- 4) 救急当番医として週1回、内科救急患者の初期診療を行う。
- 5) 抄読会や研修医カンファレンスに参加し積極的に発表する。
- 6) 月3～4回の救急当直業務を主体的に行う。
- 7) 学会発表や、論文作成を行う。

VI 通常の週間スケジュール

曜日	8:30	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月	Morning Conference	外来 諸検査					病棟 各種検査治療		合同カンファレンス			
火	Morning Conference	外来 諸検査					病棟 各種検査治療					
水	Morning Conference	外来 諸検査				チーム検討会	病棟 各種検査治療		症例検討抄読会			
木	Morning Conference	外来 諸検査				チーム検討会	病棟 各種検査治療					
金	Morning Conference	外来 諸検査					病棟 各種検査治療					
土	外来 病棟											